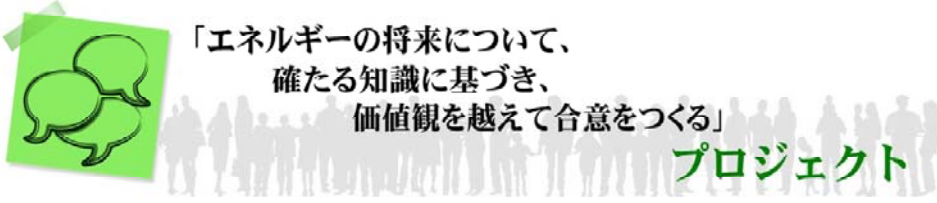


※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

ディスカッション 「エネルギーの将来について考えるには」  
ステップ2：2050年の社会はどうなっている？




「エネルギーの将来について、  
確たる知識に基づき、  
価値観を越えて合意をつくる」  
プロジェクト

〔ステップ2 …20分〕

## 2050年の社会はどうなっている？

- 今のまま進んでいったらどうなる？
- 今のまま進まないとしたら、それはなぜ？ どうなる？
- なんでも自由に言ってみよう
- 疑問に思ったことをお互いに質問しよう

30年以上も先の未来…  
ボクには想像もつかないなあ。



木村：ステップ2は、「2050年の社会はどうなっている？」ということで、少し想像してみましようという話です。今、Gさんが言ったように、個々人で将来のエネルギー像、将来の社会像が違うのではないかとことがありますので、どういう未来になっているのか、少し妄想してみましようというステップです。

お手元に付箋があると思います。そこに、2050年の社会はどうなっているのかということのエッセンスを書いてください。例えば、「車はこうなっている」とか。2分間くらい時間を取りますので、思い付きで、何でもいいので書いてみてください。何枚でも構いません。付箋1枚に対して、1つのポイントを書いて、次のポイントは次の付箋にということ、いっぱい書き出してもらえますか。そのときには、シャープペンではなくて、皆に見えるようにマーカーで、大きめの字で書いてもらえるといいかなと思います。では、少し時間を取ります。

G：これは予想ですか？ それとも、こうなっていてほしいという希望的観測みたいなもの

ですか？

木村：両方書いてもいいですよ。これは予想だけど、これは希望ですって紹介してもらえばいいと思います。

(各自附箋に記入)

木村：そろそろ行ってみましょうか。まだいろいろ考えることもあるかもしれないですけども、この時点で、考えたことを皆さんに紹介していきましょう。

今回はDさんから回しましょうか。紹介しながら適当に貼っていただけますか。

D：まずは、環境にやさしくなっているということ。

それと似ているのですけれども、新エネルギーの割合が増えているだろうなど。

あとは、人口が減って、機械化がもっと進んでいるということです。以上です。

木村：はい。では、Eさん。

E：はい。似ているものは近くに重ねるとか？

木村：そうですね、まとめていいですよ。適当に貼り換えながらやっていいですよ。

E：まず、[人口が減る]と似ているのですけれども、超高齢化社会になっている。

その影響で、余暇の重要性が高くなっている。普段の生活を重視するようになるかなと思います。

省エネという言葉が、出てきたのは最近かもしれないですけど、教育が今後されていくと思うので、それが基本になっているのではないかという希望です。

これは日本の話かなと思いますが、エネルギーの消費量がちょっと縮小する。人口が減って、ちょっと経済活動とかが小さくなるのではないかと思います。

機械化が進んで、事務作業とかはロボットや人工知能がしてくれるようになっているのではないか。

今、発展途上国と言われているところの影響力がどんどん大きくなっていくと思うので、今、先進国と言われているところは、まあお年寄りも多くなるし、影響力が減っていくのではないかと思います。

木村：ありがとうございます。

では、Fさん。

F：これはセットなのですからけれども、少子化、高齢化が進んでいる。

木村：この辺の付箋は上に持っていきましょか。

F：これは日本の場合で考えているのですけれども、日本では、おそらく今のままのペースで少子高齢化が進んでいくと思います。

実際にこうなるのではないかと考えているのは、田舎と都会の格差が広がる。今以上に、人がいないところにはまったくいない。でも、都会は本当に人が密集して、発展しているという想像をしています。

あと、食べ物のおお半がたぶん輸入になって、農業がだんだん衰退していくのではないかと思います。

木村：さすが、普段農業を勉強しているだけありますね。

F：あとは、すごいスマホができていのではないかなって（笑）。

木村：これは、どちらかと言うと〔機械化が進む〕に近いかもしれませんね。

F：工業的というより、精密機械のほうが進んできて、今の生活とはあまり変わらないけれども、そういう小さいところがすごいハイテク化している、という感じだす。ドラえもんみたいな世界ではなくて、そういう細かい部分がすごくなっているのではないかと思ひました。

木村：なるほど。全体というよりは、細かい進化をしているわけだすね。

F：そうですね。

木村：はい、どうぞ。

G：私は、日本の人口は減ると思ひます。ただ、世界的にはまだ増え続けるのではないかと思ひます。

日本では省エネ化が進むと思ひますのでけれども、たぶんあと 30 年くらいでは世界はそんなことにはならないで、普通に環境資源がどんどん枯渇していくのではないかと思ひます。

それで、日本だと一般人にも資源がやばいという危機感がやっとな浸透し始める頃で、30 年くらいでは、まだ環境がうまく回り始める時期ではないのではないかと思ひます。以上

です。

木村：〔環境資源の枯渇〕は、世界的な話ですね。

〔一般人まで危機感が浸透〕は、社会の価値観的な話ですね。たぶん〔余暇の重要性が高い〕とかもそうですね。

エネルギー関係の付箋は、こちらのほうにまとめておきましょうか。

では、Aさん。

A：私は、Gさんと逆の意見になってしまったのですけれども、脱石油依存が進むのではないかと思います。

それに伴って、エネルギーが値上がりするのかなと思います。

エネルギーの値上がりに応じて、エネルギー消費を効率化しようとする動きが、もうすでに始まっていると思うのですけれども、それが進んでいく。

省エネが、日本だけではなく、世界的にも浸透してくるのかなと思います。

木村：省エネ関係の付箋はここにまとめましょうか。

A：エネルギーの無駄を省こうということで、24時間営業が激減すると考えています。

それから、再生エネルギーはどんどん技術が発展すると思います。

木村：ここと一緒にかな。ありがとうございます。

じゃあ、Bさん。

B：結構似たのが出てしまったのですけれども。省エネ化がまだまだ進むのではないかなと思います。

あとは、人工知能が、

木村：この辺に置いておきましょうか。

B：はい。人工知能が、まだ黎明期だと思うのですけれども、これから出てくるのではないかと思います。

それに伴って、ここに似ているのですけれども、単純労働が減ってくると思います。

ちょっと話が変わるのですけれども、ゼロ成長がそのまま進んで、たぶん経済成長ではない社会が来ると思います。

木村：人口ではなくて、経済性がゼロ成長ということですね？

B: そうですね。もう GDP の成長率が 1% 以下とか。

木村: ありがとうございます。

では、最後に C さん。

C: まず、医療技術が発展している。ちょっと希望に近いのですけれども。この辺ですかね。放射線障害は別に怖くないぞ、というような社会になっていればいいなと思っています。

安全な原子力発電の開発が進んでいると思います。仕組みとしては、原子力はすごいエネルギーを取れるので、うまく安全に利用できるようになっていればいいと思います。

あと、日本は先進国じゃなくなっているかなと。どんどん追い越されて、今の状態ではないのだろうなど。

人口系の話では、多民族国家になって、社会の回り方がずいぶん変わってきているのではないかと思います。以上です。

木村: ありがとうございます。

皆さんのお話をまとめてみたいと思います。この辺は人口の話。人口が減って、少子高齢化になっている。多民族国家になっているのではないかという話もありました。

これは、経済がストップしているだろうという話です。それから、日本は先進国ではなくなっているという話が出ています。皆さんが活躍する時代の話ですけれども、これで大丈夫ですか (笑)。まあ、でも、だいたいそうだろうという予想なわけですね。

この辺が、そのときの感覚に近いような話です。田舎と都会の格差が広がっている。危機感が一般化している。より環境にやさしくなっている。食べ物の大半が輸入になっている。先進国の影響が減って、余暇の重要性が高くなっている。

機械化の話は、結構皆さんから出てきました。機械化や人工知能によって、単純労働系のもものは少し減るだろう。あとは、医療も進化するのではないかという話、おそらくこの辺りにまとめられます。

人口は減って、成長がなくなってきた、環境にやさしかったり、余暇が大切になってきたり、一方で危機感があつたりしながら、機械化が進むのではないかという話が出ていますね。

あとは省エネの話。世界的な省エネ化。省エネ生活が基本になる。エネルギー消費も縮小するのではないか。

エネルギーとしては、再エネ、新エネに転換していく。これもここかな、脱石油依存が始まってくる。環境資源も枯渇してくる。原子力に関しては、安全面の開発が進んでいるのではないかという話もある。

[エネルギーの消費の効率化]、これは省エネのグループですね。[24 時間営業激減]は

この辺かな、人間生活っぽいところですね。[エネルギーの値上がり]はどこかな。この辺に置いておきますね。

まとめると、こちら側がエネルギーに関しての意見。ここは人口などに関する意見。ここは考え方に関する意見。機械化の話。こんな感じに皆さんの意見が出てきました。

これを見てみて、何か追加でご意見はありますか？ ここはもう少しこういうことがあるのではないかと。あとは、お互いの意見への質問があれば。

2050年の将来像は、割と共有されている感じですか？

B：蓋を開けてみたら、結構皆同じことを言っている、という感じですね。

木村：ちなみに、こういう社会は幸せな社会だと思いますか？

G：私は、皆が挙げているよりはもうちょっと駄目な感じの社会になっているのではないかと考えています。私も、理想像としては皆が言っているような感じだと思うのですが、正直、30年で先進国が変われるかあやしいのに、世界全体は絶対に変わらないと思います。日本が導入し始めて、10年くらい経って、やっと技術が他の国にも回っていくのだと思うので。30年後は、やっと日本がうまく回り始めるかどうか、くらいだと思います。隣の大きい中国がそこまで変わらなかつたら、世界としてはそんなに変わらないで、むしろ環境資源が枯渇するほうが先だと思いました。

木村：なるほど。この付箋はそういうことが含まれているんですね。

他はどうですか？ こういう感想を抱いた、でもいいですけども。Eさん、何か言いたそうでしたけど、いかがですか？

E：なんか大変な問題がいっぱいあるなと思ったんですけども。おそらく、それはそれで、まあそういうものと皆が受け入れて、幸せかと言われたら幸せだろうなと。人生長くなるので、皆結構楽しんではいけるけれども、環境とか、人口とか、世界の勢力図とかが変わってきているところに、皆があまり目を向けたくないなと思っている感じの社会なのかなと思いました。

木村：なるほど。変動があるのだけど、それは一線を置いて見ないふりをしている社会。

E：うーん。

木村：それでいいのですか？

E：危機感を抱き始めたくらい？ 先ほど G さんからありましたけれども。

木村：ああ、なるほど。

他はいかがですか？

B：〔機械化が進む〕というのは、良い面と悪い面の両面があると思います。私たちは大学生ですけれども、学部を卒業するときとか、大学院を修了するとき、大学に残らない限りは、就職活動をすると思います。昔は大学生のうちにインターンをしなかったと聞いているのですけれども、今は、多くの大学生がやるようになっていきます。機械化が進むと、簡単なことは人間にわざわざやらせてもらわなくてもいいからというのが進むから、自分ができることをもっと増やさないといけないし、こういうことが強みですということをもっと差別化しないと行けないで、そういう意味ではお金を稼ぐのも今以上に大変になるのかなと思います。

E：これを見て、就活が難しそうだと思います。

B：今、日本では、ブラック企業とかブラックバイトが話題になっていますけど、昔はすごい生産性の高い人たちが長時間労働していたから経済発展したというのは当然一面としてあると思うのですけれども、その分、例えば男女が実際には平等ではないわけですね。例えば、男の人は育児休暇が取りづらいとか。会社第一に生きていかないともう出世コースから外れちゃうとか。ワークライフバランスがうまくいってないという意味で、これから余暇の重要性が高まるとか、そういうフレキシブルな方向にいけば、幸せな方向に行くのではないかとと思うのですけれども。

その一方で、国同士の関係を見れば、先進国の影響が下がって行って、それこそどんどん経済発展している国の発言権が高まってくれば、余っていないパイをどのように配分するか、取り合っていくのかという意味では、対立が激化するから、大変な社会なのかなと思います。

木村：F さんは何かありますか？

F：今の皆さんの話を聞いたり、模造紙を全体的に見たりして、これからは、量的価値から質的価値にだんだん変わっていくのではないかなと感じています。


〔先進国の影響が低下する〕という意見があって、確かにそうかもしれないと思ったのですけれども、たぶんこの 50 年くらいはそういうことはないのではないかなと個人的には思っています。その理由は、今言った質的と量的の価値の違いで、(今までの) 先進国はどんどん増やしていく、例えばどんどん輸出量を増やすという概念だと思うのです。日本は、

今後人口も減っていくし、資源も限られているから、ここで言っているみたいに、余暇の重要性が高まるとか、生産量よりも、どんどん価値を他のところに置いていく。今まではたくさん売ればよかったものを、例えば付加価値をつけるとか、精密機械とか、たぶん向く方向が違うと思うのですよ。先進国は、その新しい土台でまた市場を作っていくので、影響力は、多少は変わると思うのですけれども、立場関係はあまり変わらないと思います。

先進国で生きていくのだったら、機械化に、単純作業に代わる、新しい価値を作っていく人材が必要になっていくのではないかというのを、これを全体的に見て思いました。

木村：はい。時間がなくなってしまったので、議論はここまでにしたいと思います。

本当は、あとステップ3と4があったのですが、ステップ4に移りたいと思います。




「エネルギーの将来について、  
確たる知識に基づき、  
価値観を越えて合意をつくる」  
プロジェクト

〔ステップ3 …10分〕

## 2050年のエネルギーを考えたときに その他に考える点がないか考えよう

- エネルギーの現状を思ってみて気になる点は？
- 2050年の社会を思ってみて気になる点は？
- なんでも自由に言ってみよう
- 最後にグルーピングしてみよう



なんでもいいよ。  
思いつき、大歓迎！

木村：ステップ3は、先ほど予告したように、3E+Sの他に考える点がないかどうかを皆で考えましょうというものでした。もう時間がなくなってしまったので、ステップ3に関しては、皆さん、心の中でいろいろ唱えておいてください。